

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



美好的时光（素晴らしき時間）

鳥取県商工労働部通商物流課 山本 大輔

東京本部で受けた刺激

クレア派遣でしか得られない、国内および海外での充実した時間は、私の仕事観、人生観をより豊かにするものとなりました。

毎年、クレア東京本部には全国の自治体から派遣された選りすぐりの(!?)職員たちが集まってきます。語学力のみならず、さまざまなスキルを持ち「なぜアナタが公務員を？」という人もいれば、20年前の中国のように、どこまでも成長しそうな可能性を満載した発展途上の若手もいる、とても多様性に富んだ組織です。

そして一緒に働く外国人職員も皆、とびきり優秀な人ばかりでした。彼らと一緒に仕事することはとても刺激にあふれ、さながら面白い小説を一日中読みふけるかのように、夢中で東京本部の日々を送りました。

海外事務所での勤務経験という価値

クレア北京事務所に派遣されてからは、中国各地で開催される博覧会・展示会へ参加し、鳥取県をはじめとした日本の地方自治体の魅力をPRすることや、自治体職員を中国の地方政府機関に派遣し、技術交流や人材育成を行う自治体国際協力専門家派遣事業など、さまざまな業務を担当しました。

仕事などで中国各地へ出張する機会があると、気候風土や産業、食文化といった点で、想像以上に地域の多様性というものを実感することがあり、中国に関する知見が深まったことを思い出します。

また、海外事務所では国際的に重要なイベントに関わる機会もあります。2018年10月に北京で開催された「日中第三国市場協力フォーラム」では、鳥取県は地方自治体として唯一招待を受け、私はクレアの業務支援活動の一環として、会場となる人民大会堂内において、平井知事の随行サポートの一員を任されました。

知事の講演が聴衆の喝采を浴びて盛り上がるなか、普段は立ち入れない会場内の荘厳な空気に緊張しつつも、いち「参加者」として業務に携わり、当時の時間や空間を共有できたことは何よりの経験でした。

海外事務所での勤務は、その国ならではの「地域の魅力」をより感じる事ができる絶好の機会であり、そこで得た経験は無形の財産となって、派遣者および所属自治体に良い影響を与える（与え続けてきた）と信じています。



「日中第三国市場協力フォーラム」での歓迎レセプション中、人民大会堂内の関係者待機ロビーにて

新しい章へ

そして、物事には始まりがあれば、終わりとなる区切りがあります。夢中になって小説のページをめくり進めるうちに、「クレアでの3年間」という読み応えたっぷりの章はあっという間に過ぎていきました。

帰任後は主に、鳥取県と中国との経済交流の推進および新規商流を開拓すべく、日々奮闘している…はずだったのが、なぜか交流ひとつもままならない、暗黒めいた苦難の章に突入しています。

おそらくほかの皆様方も、相当苦しい経験をされているかと思いますが、しかし、この章にも必ず終わりがあります。本号発行の頃には、多くの方に明るい新章が訪れていることを願っています。

プロフィール

- クレア時代の所属：
2017年4月～2018年3月 東京本部 経済交流課
2018年4月～2020年3月 北京事務所